



おかえりカナダチーム！！ ようこそサムライジャパン！



東京オリンピックの事前キャンプから2年経過。
当時、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、宿舎⇔練習場施設以外は一步も外出を許されなかったカナダチーム。
この度、ようやく待ちに待った市民との交流が実現しました！親善試合相手の日本代表も合わせて、両チームが市内幼稚園、小・中学校での交流、親善試合後の市民交流に協力。平日開催となりましたが、両日合わせて約500人の観客、参加者が熊山運動公園に訪れ、熱い応援を両チームに送り、また選手たちとの交流を楽しみました。



企業版ふるさと納税制度により、企業からの寄附を運営の一部に活用しています。



幼稚園・小、中学校訪問&交流(全8園校)

9/4
磐梨中

2, 3年生のクラスで給食を食べながらの交流。
PC翻訳やジェスチャーを駆使しながら、生徒と選手・スタッフはコミュニケーションを取っていました。
残った牛乳獲得のために、じゃんけんに参加する選手も。言葉を超えてもぐもぐタイムを楽しみました。



放課後、日本代表チームコーチと選手がホッケー部の指導に来校。贅沢で貴重な時間となりました。



9/4
いわなし幼

降園前の時間に、地域の人と一緒にホッケー体験。選手が上手に操るボールをがんばっておっかけたり、一緒にパスをしたりしました。



9/4
磐梨小

空港からの到着が遅れたため、残念ながら昼休みの交流ができませんでした。代表で折り鶴のプレゼントを手渡しました。また試合会場には応援横断幕を作って飾ってくれました。



カナダチームは、パリ五輪出場をかけて、10月に行われるアメリカ大陸大会に挑みます。がんばって！

9/5
山陽西小

日本代表選手の姿を見ると大歓声の子どもたち。4・6年生は、体ほぐしの運動やホッケー体験で交流し、大いに盛り上がりました。6年生は給食交流ののち、キャリア教育。日本代表で活躍する選手たちに、人生設計や大切にしていることを聞き、心に響く言葉をたくさんもらい感動の子どもたちでした。



昼休みも一緒に遊んでくれた選手たち。遊びも全力！

9/5
軽部小

ホッケーはカナダチームに教えてもらい、お返しに高学年は書道を、低学年は昔あそびを選手たちにおしえてあげました。教えあい交流がお互いに素敵な体験と思い出となりました。



9/6
吉井中

2021年東京オリンピック事前キャンプでは、全校生徒でカナダ国歌を歌いビデオメッセージとして届けてくれた吉井中学校の生徒と先生方。今回はそのなつかしい映像を一緒に見ながら直接、カナダの選手やスタッフのみなさんと交流できました。教室の中でホッケーのリフティングを見せあったり、会話を楽しんだり。笑顔の素敵な選手たちに、男子生徒も女子生徒も一瞬でファンになってしまった様子。給食時間はあっという間に過ぎて、さよならの時間となりました。🇨🇦



9/6
豊田小

各クラスに分かれて選手たちと楽しい給食時間。選手たちに質問攻めのあとは、「昼休み一緒に遊ぼう」と誘う子どもたち。給食後は校庭で、ドッジボールや鬼ごっこで汗だくで一緒に遊びました。すっかり打ち解けた後は、全校児童でホッケー体験。給食・昼休み・ホッケー体験と長い時間を過ごし、充実した交流ができました。🇨🇦



9/7
ひかり幼

全園児でホッケー体験。最初にホッケーの技を見せてもらい、やってみたくてたまらない子どもたち。選手たちは子どもたちに目線を合わせて、優しく教えてくれました。その後、「あの橋が落ちる前に〜♪」のお遊戯を一緒に楽しみました。子どもたちの小さな橋を、くぐる大きな選手や、選手の橋につかまってなんだかうれしい子どもも。元気な歌もプレゼントして、大会へ挑む選手たちへかわいいエールが送られました。🇨🇦



9/4・6
給食センター

学校訪問で子どもたちと美味しい給食を食べながら交流ができた、ということで、両チームの選手&スタッフが各センターへお礼に訪問しました。(中央給食・東給食・吉井給食センター) 🇨🇦 🇨🇦



エスコートキッズ・試合の様子

公募で集まったこどもたちと選手たちが手をつないで入場。定員より多くの応募がありましたが、全員参加。両手にエスコートキッズで入場の選手も。両手がふさがった選手に、スティックを託されたこどももいました。



市民交流 9/5アスリートにチャレンジ

親善試合後に行われた市民交流イベント「アスリートにチャレンジ」では、選手と一緒にかけっこ、つなひき、ホッケーなどで対決し交流しました。試合後疲れているはずの選手たちでしたが、「こどもたち、市民のみなさんが楽しんでくれている姿を見られて、元気になる」と言っていました。坪井教育長から歓迎の気持ちを込めて、両チームに赤磐市産のぶどうを贈呈しました。



市民交流 9/6ホッケー教室

ホッケー未経験者、経験者に分かれての「ホッケー教室」。カナダと日本代表の選手やスタッフに直接教えてもらいました。広い多目的広場が、たくさんの市民やホッケー・スポーツファンで埋め尽くされました。カナダ代表や日本代表の選手・スタッフからホッケーを教わり、ハイタッチや握手をし、サインをもらってお別れしました。目線を合わせて話をしてくれたり、気さくに写真撮影に応じてくれたり優しい選手たちでした。



集客数 5日、6日の2日間で約500人

新聞や広報記事やチラシを見て、応援に来てくれた市民や、園や学校交流したのちに、「また選手に会いたい!」と来てくれた子どもたち、先生方もいました。熱く温かい応援ありがとうございました!



カナダ国旗と日の丸の旗を振る人で、観客席は埋め尽くされました。来場のみなさんには、スピード感と迫力のある試合を間近で観戦していただきました。

岡山県ホッケー協会の協力

親善試合の競技運営に全面的に協力いただきました。



消防本部の協力

市民が集まるホッケーのイベントに毎回協力くれるまちのヒーロー消防士たち。ホッケー場の水まきもですが、市民への熱中症対策、家庭用火災報知器の啓発もしっかり!



おにぎり作り隊

午前中に幼稚園や小中学校で子どもたちと交流をする選手たちに、試合前のエネルギーチャージとして、おにぎり等の補食を提供。市の栄養士や職員で協力し、選手たちに愛とパワーを届けました。



応援フラッグ&激励

これからパリ五輪出場をかけた大陸大会に出場する両チームへ、市民からの応援の気持ちを書いたフラッグを贈呈しました。また市長からはカナダチームから「どうしても食べたい!」とリクエストされた赤磐市の桃を贈呈。大喜びの選手たちでした。「次はお互いに大陸大会を通過し、パリ五輪の舞台で戦いましょう」と健闘をたたえあった両チームのキャプテンたち。最後はたくさんの市民やホッケー少年少女たちとの記念撮影やサイン要求に応じてくれ、お別れしました。**両チームのみなさん、赤磐市はまたみなさんのお越しをお待ちしています!**



朝日新聞デジタル
「ホッケーカナダ代表が岡山・赤磐を再訪し交流」(9/5)



赤磐市教育委員会 社会教育課

NHK岡山

赤磐市での親善試合とホッケーカナダ代表との交流の様子



